



さんびょう 三錨Ⅶ

本気に 元気に 根気よく

四日市市立富洲原小学校
学校だより

No. 9

平成30年 7月9日

この土日、記録的な豪雨のため、西日本各地で大変な被害が出ています。お見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を願っております。

さて、長かった雨も上がり、今週からは天候も回復して、プールからまた子ども達の歓声が聞こえてきそうです。中庭にある校長畑のヒマワリも、ようやく満開になりました。暑い日が続きそうですので、熱中症に注意しながら、1学期をしっかり締めくくっていききたいと思います。



◇交通安全教室

7月5日(木)、四日市市交通安全協議会の交通教育指導員「とみまつ隊」の皆さんが来校されました。「とみまつ隊」とは、交通安全で大切な「とまる」「みる」「まつ」の3つの言葉を合わせて命名されたそうです。本校では、毎年夏休みを控えたこの時期に、1・3・5年生が交通安全教室を開いています。2限目から4限目まで、体育館で学年ごとに教室を開いていただきました。

2限目の1年生では、腹話術の「ケンちゃん」が交通安全の話をしてくれたり、街のイラストを見て危ない所を探したりしました。3限目の3年生は、主に自転車用ヘルメットのかぶり方と、大事な頭を守るためにヘルメットがいかに有効かを、生卵の実験で見せていただきました。4限目の5年生も、ヘルメットのかぶり方と自転車の乗り方について、なぜそうした方がいいのか、理由まで詳しく説明してもらいました。

低・中・高、それぞれの子ども達の発達段階に応じた内容で、子ども達もよくわかったと思います。夏休みに入ると、自転車に乗る機会も増えるでしょう。1学期、市内で発生した自転車の交通事故では、ヘルメットの着用率が低かったそうです。暑い時期ですが、大切な命を守るため、お家の方からも、ぜひ着用の声掛けをお願いします。



ヘルメットのかぶり方



腹話術のケンちゃん



前のブレーキだけかけると・・・

◇「大雨警報」発令時の対応について



7月6日(金)の朝、四日市市には「大雨警報」が発令されていました。そのため、その日は休校になるのではと、朝から数件のお問い合わせの電話がありました。警報発令時の対応につきましては、4月に配布しました学校説明会要項の10ページ、「警報等の発表時における児童の安全確保について」をご覧ください。それによりますと、「大雨**特別**警報」の場合は、臨時休校になりますが、特別がつかない「大雨**警報**」の場合は、原則通常通り登校となります。

ただし「大雨警報」でも、校長判断で、自宅待機等の措置が必要な場合は、「すぐメ

ール」にてお知らせします。また、各登校班で、道路が冠水しているなど個別の状況で、登校を見合わせるなどの判断をされた場合は、学校までお知らせください。

◇児童会がんばる



6月25日（月）～29日（金）まで、児童会による「ユニセフ募金」が行われました。世界の子どもの命と健康を守るため、少しでも力になろうと、5月30日の児童集会でも全校に呼びかけました。期間中は、児童会役員の児童が、毎朝中央昇降口に立ち、大きな声で募金を呼びかけていました。その思いに応えて、たくさんの児童や職員が募金に協力をしました。世界には、今も戦争で傷ついたり、食べ物がなかったり、病気になっても治療が受けられない子ども達がたくさんいます。みんなの気持ちが届き、少しでも役立つことを願っています。

児童会・代表委員が中心になって進めている、「いじめ0運動」も、校内放送で全校に呼びかけたり、イメージキャラクターを募集したりするなど、子ども達が自主的に取り組んでおり、頼もしいです。

◇学校でも「働き方改革」

今、世の中では「働き方改革」が話題となっています。教育界も例外ではなく、時間外労働の多さが問題となっています。本校を含めた市立小中学校職員も、月に80時間を超える時間外労働も珍しくなく、100時間を超える職員も見られる実態がありました。そこで、県や市をあげて、勤務時間の縮減や、ワークライフバランスを大事にした働き方に取り組んでいるところです。毎日、明るく元気に子ども達と接するために、また教師として、見識を広げ、人間性を豊かにするための取組として、ご理解をお願いします。

その取組の一つとして、各校「定時退校日」を設け、本校では、毎月第2金曜をそれにあてています。今後の予定は、7月13日、8月は休校日、9月14日、10月12日、11月9日、12月14日、1月11日、2月8日、3月8日となります。本校の常勤職員の勤務時間は、午前8:25から午後4時55分までとなっております。定時退校日には、原則午後4:55分に、職員は退校しているものとしてよろしくお願いします。



◇通学路の安全点検について

6月18日の大阪府北部を震源とした地震により、小学校のプール壁が倒壊した痛ましい事故を受け、四日市市でも学校敷地内及び通学路の、地震に対する安全点検を行いました。また、保護者の皆様には、自宅から集団登校集合場所までの調査のご協力をお願いしたところ、早速いくつかご報告をいただき、ありがとうございます。

学校敷地内では、北校舎と中校舎をつなぐ1階渡り廊下の両側と、プールの体育館側にある、眼洗いの裏のブロック塀が高く心配になりました。市当局の方に現場で確認をしていただいた結果、鉄筋がきちんと入っていたり、鉄の枠で固定してあったりするので大丈夫とのことで安心しました。



通学路の安全点検も、集団登校で歩く幹線の経路については、本校教員により現場点検を行いました。その結果、ブロック塀が高い、古い、傾いている等、気になる箇所は全部で30ありました。道路側からの目視による調査ですので、直ちに危険かどうか、はっきりしないものも含まれています。民家が密集していて、道路幅も狭い所では、大地震で上から瓦等の落下物が心配される道も多くみられました。点検結果は、市教委へ報告するとともに、職員間でも共有し、19日（木）の町別児童会で、子ども達への指導に生かしたいと思います。